


礼拝の作法

お焼香の仕方					
	① 僧侶遺族に目礼焼香台前に進み遺影に深く一礼	② 右手の親指、人差指・中指の三本で抹香をつまみます	③ 抹香を静かに顔にいたたく。2回目以降はそのまま香炭の上に	④ 回数は3回以内会葬者が多い時は一回が慣例	⑤ 合掌し故人の冥福を祈る。遺族に一礼
お線香の上げ方					
	① 右手で線香を1本とり、ローソクの炎を移す	② 線香の炎は左手で消すか、下に強く引いて消す	③ 線香を香炉の奥のほうから立てる	④ 合掌し、心を込めて故人の冥福を祈る	
玉串奉奠の仕方					しのび手 
	① 神官から玉串を受取る。右手で上から根元を持ち左手は下から添える	② 祭壇前まで進み玉串の根元が手前になるように回し祈念をこめる	③ 根元を左手で持ち右手は葉先に添え「の」の字を書くように時計回りに回す	④ 根元が祭壇に向くように玉串を回し、左手を右手に添えて、玉串台に供える	神葬祭の際の拍手は両手を打つ手前で止めて音を立てない「しのび手」です。1年祭まではしのび手です

御香典の表書き

◆忌明け(四十九日)後の法要の表書き

黒白の水引を使い、「御仏前」と書きます。「御供物料」と書く場合もあります。



◆キリスト教の表書き

「献花料」や「御花料」と書きます。水引はなくてもかまいません。



◆神式の表書き

銀の水引を使って、「御玉串料」と書きます。「御神前」「御榊料」と書く場合もあります。



◆二人と一緒に包む場合

横に並べてそれぞれの名前を書きます。



◆仏式葬儀の時の表書き

黒白の水引を使い、表書きは上段中央に、「御霊前」と書くことがもっとも多いようですが、浄土真宗の場合は「御仏前」と書きます。他に「御香典」「御香料」と書く場合もあります。



香典の供え方

ご霊前 表書きを自分が読める方向にして供える		受付 表書きを係りの人が読める方向にして渡す	
---------------------------	---	---------------------------	---